

お客様 各位

ニッタン株式会社

## 長期停電時における自動火災報知設備の警報について

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品をご愛顧賜りまして心より御礼申し上げます。

この度、地震や台風などで停電が発生した際に、自動火災報知設備が「停電」を検知し、警報音が鳴る機種があることから、当社の自動火災報知設備の停電時の動作、および復電後の対応についてご案内致します。

敬具

記

### 1. 停電時の動作について

自動火災報知設備の受信機は停電発生時、交流電源断により異常警報や異常表示が発生する機種があります。この場合は警報内容をご確認の上、受信機の音響停止スイッチで警報音を止めてください。（停電時の受信機動作は、機種により異なりますので、取扱説明書等をご確認ください。）

なお、停電時であっても規格（消防法）で定められたバッテリーが内蔵されており、適切な設置維持管理においては一定時間（60分監視、10分間作動）火災監視を継続し、この間に火災が発生しても正常に動作します。

#### ① R型受信機の動作例

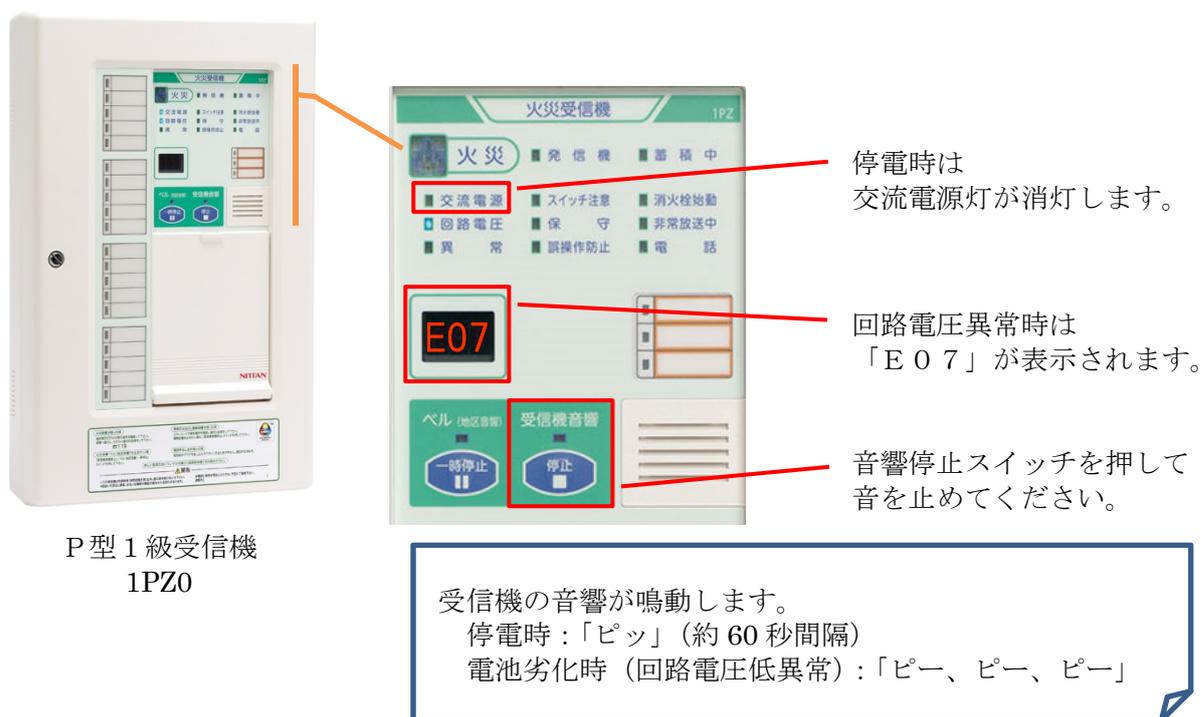


受信機の音響が鳴動します。

停電時：「ブー、故障が発生しました。」（繰り返し）

電池劣化時（回路電圧低異常）：「ブー、故障が発生しました。」（繰り返し）

## ② P型受信機の動作例



## 2. 復電後の対応について

復電後もバッテリーの充電が完了するまで異常警報や異常表示を行うことがあります。受信機の音響が鳴動した際は、音響停止スイッチを押して音を止めてください。

復電後は受信機の交流電源灯が点灯していること、さらに火災表示や異常表示が無いことを確認してください。

受信機のスイッチ注意灯が点滅している場合は、盤面のスイッチが定位になっていないため、取扱説明書をご確認の上、スイッチを定位に戻してください。

以上